



第29回母乳育児シンポジウム開催！

シンポジウム内で、COVID-19陽性妊婦の母乳育児支援について取り上げられました。WHOはCOVID-19陽性の母親が母乳育児をすることを推奨していますが、日本ではCOVID-19が指定感染症になっているため、母子分離をせざるを得ない現状です。他施設での、COVID-19陽性妊婦の母乳育児支援の現状と今後の課題を一部ご紹介します。



★母乳哺乳学会から以下の報告がありました！

COVID-19陽性の母親の母乳にはウイルスが含まれず、尚且つ、コロナウイルスの抗体があります！

★支援の現状★

1. 帝王切開術当日から遠隔サポートによる乳頭刺激を励行し、母乳分泌促進ケアの実施
2. 母乳育児は禁忌ではないこと、赤ちゃんが退院するまで母乳分泌を維持することの意義を情報共有
3. 赤ちゃんの退院時に、自宅での授乳を想定しながら直接授乳練習の実施

★今後の課題★

1. 入院中から赤ちゃんに母乳が届けられるように各病院で体制を整える
2. 母子分離となった母親の思いを傾聴し心理的支援を継続していく

